



奉仕活動を展開する国際ロータリーの新年度が今月スタートした。大阪の泉州・南河内地域と和歌山全県を管轄する第2640地区の新ガバナー、米田真理子さん(61)は堺フェニックスRCは、国内2人目の女性ガバナー。米田さんは結婚後に大阪大学薬学部を卒業し、調剤薬局や医療ビルなどを多角的に経営、同クラブの創設メンバーでもある。今後の意気込みなどを聞いた。

【嶋谷泰典】

— 会員に求めるものは。

◆さまざまな専門職のリーダーたちに、高潔さと高い倫理観を持ちながら、地域や国際的なさまざまな奉仕活動に携わってほしい。

— 自身ではどのような奉仕活動を。

◆臓器移植フォーラム開催やドナーカード配布▽幼稚園児を対象としたミュージカルの

倫理観持ち、社会奉仕を

2人目女性ガバナー 米田真理子さん

支援▽タイの姉妹クラブを通じたきれいな水の提供▽修理した放置自転車のタイのへき地への寄贈—などだ。クラブ会長時代には、子どもたちに堺の良さを再認識してもらおうと、10人乗りの舟2艘を贈った。川から街



新年度への意気込みを語る米田真理子ガバナー 二堺市内で

を観察する活動が、今もNPOの手で続けられている。

— 薬剤師、医療施設の経営者としては。◆不要な薬を飲まされていながら、副作用を我慢しながら服薬

— 女性ガバナーとして。

◆女性がリーダーとして認められたということであり、うれしい。今月の国際誌の表紙に「地区を大胆にリードするガバナー」の1人として写真掲載してもらえた。女性の視点を大事にしたい。

— 4世代で暮らしている。

◆しゅうとめからも孫からも、私自身がいろんなことを学び、相手への思いやりをばぐくめているし、会社の社員にも家族の大切さを説くことにつながっている。



毎日新聞



〈記事〉 毎日新聞朝刊 大阪南版／平成 22 年 7 月 18 日 和歌山版／7 月 21 日



各地域のロータリークラブ会長らを前にあいさつする米田真理子ガバナー
—大阪府泉佐野市のホテルで

国際ロータリー第2640地区のクラブ会長会議が17日、大阪府泉佐野市のホテルで開かれた。今月スタートした10〜11年度最初の会議で、各地域のロータリークラブ（RC）代表者に、地区トップの米田真理子ガバナーは「ロータリークラブとは何かを問い続ける1年にしたい」と呼びかけた。

会議には、管内にあたる県全域と大阪府内の泉州・南河内地域の72のRCなどから、会席。冒頭、国内では2番目の女性ガバナーと

「地域での存在感を」

ロータリー2640地区
クラブ会長会議 **米田ガバナー訴え**

なった米田さんは「RCが親睦のためのみ（の活動）になっていないか」と問いかけ、各地域での奉仕活動のあり方を検討し次代を担う若手リーダーを養成する必要性を強調。「良い指導者がいるクラブは地域の関心を集める活動をし、地域での存在感を高められる」と訴えた。

この後、参加者は別に討議。RCの活動内容や新しいリーダー育成などについて活発に話し合った。

【土居和弘】



〈広告〉 毎日新聞朝刊 半2段 大阪南版／平成 22 年 7 月 21 日 和歌山版／7 月 21 日



2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ

ロータリーは、**人類のために活動します。**



韓国とモンゴルのロータリークラブの会員が協力して、モンゴル南部のゴビ砂漠の拡大を防ぐ防風林を作るために数千本の木を植えました。



RI 第2640地区 (大阪南部・和歌山) ガバナー 米田 真理子

2010～2011年度 ガバナー事務所 〒590-0021 大阪府堺市北三国ヶ丘町1丁目1番16-C棟14号
TEL.072-224-2640 FAX.072-224-2650

<http://www.rid2640.org>